

## 日本脊椎脊髄病学会 平成 25 年度第 3 回国際委員会議事録

平成 25 年 10 月 23 日 (水) 18:00 ~ 19:30

場所：ザ・クラウンパレス新阪急高知 12F 「すみれの間」

出席：松山幸弘理事、湯川泰紹委員長、金山雅弘委員、川原範夫委員、小西宏昭委員、  
豊根知明委員、長谷川和宏委員

岩崎幹季アドバイザー、富士武史アドバイザー、山田宏アドバイザー

欠席：田中雅人委員、根尾昌志委員、矢吹省司委員

1. 今年度のトラベリングフェロー訪問の進捗状況が報告された。現時点で、2 組の訪問が問題なく終了している。
2. 来年度のトラベリングフェロー募集については、Journal of Spine Research No.9 で広告し、応募期間は 11 月 1 日 ~ 11 月 30 日、例年通りの選考を行う予定である。
3. 来年度の学術集会の招待医師・講演などの準備状況が確認された。招待医師は以下の通り決定している。

Chong-Suh Lee 教授 (Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University, 韓国)

Huang Tsung-Jen 教授 (Chang Gung Memorial hospital, 台湾)

Kwan Mun Keon 医師 (University Malaya Medical centre, マレーシア)

Ajoy Prasad Shetty 医師 (Ganga Hospital, インド)

Torphong Bunmaprasert 医師 (Chiang Mai University, タイ)

Kuo-Yuan Huang 医師 (National Cheng Kung University, 台湾)

学術集会の際に、招待医師 : 教育研修講演 (すでに決定) 招待医師 : 30-60 分程度の講演、招待医師 ~ : 合わせて 1 時間程度の講演枠を学術集会事務局に依頼する。

4. 来年度の学術集会の English Poster Award の応募状況について報告があった。現時点では 35 題の応募 (うち海外からの応募は 6 題) と例年より少ない。

また、今後、学会の国際化および海外参加者を意識し、英語 (口演) セッションを増やす必要があるとの認識に至った。学会の国際化のためには継続性が重要であり、トラベリングフェローの応募条件に英語セッションでの発表を義務化する、英語セッションでの発表回数をフェローの選考ポイントに入れるなど、英語セッションへの応募演題数の増加のための工夫を検討していくこととなった。

5. 新規訪問先 3 施設を加えた 15 施設の中から、来年度の訪問先として以下の 10 施設 (受入れ医師名で記載) を選定した。残り 2 施設の選定も順次すすめていく。

Vo Van Thanh, MD (ベトナム)

Hee-Kit Wong, MD (シンガポール)

Ruey-Mo Lin, MD (台湾)

S Rajasekaran, MD (インド)

Keith D Luk, MD (香港)

Jae-Yoon Chung, MD (韓国)

Bambang Prijambodo, MD (インドネシア)

Zhong Jun Liu, MD (中国)

Bon-Soon Chang, MD (韓国)

Mun Keong Kwan, MD (マレーシア)

また、今後はトラベリングフェロー修了者による訪問施設の評価も加味して、訪問施設の選定を行う。

6. トラベリングフェロー受け入れ施設からの学術集会への参加者に対するサポートについて、宿泊費用・学会参加費に加えどの程度の費用援助を行うかについて話し合われた。担当理事より、来年度以降の会計制度の変更(国際委員会から学会本体への会計の移行)の可能性が示唆されたため、それらが決定されたのちに再検討する。

7. その他

来年度の招待医師に対し学会開催時に夕食会を開催すること、また観光案内を学会事務局と連絡を取りながら準備することを確認した。

将来的にトラベリングフェローの訪問先をアジアに限局せず、欧米にも広げていくか今後の検討課題とすることを確認した。